

ご挨拶

みなさん、こんにちは、4月から地域長をさせていただくことになりました西 洋祐と申します。

最近、考えるんですよ。なんで自治会って、みんな負担なのかなって。そりゃそうですよね。まず、自分の事、自分の家族が大切です。自分の事をほったらかしにして、自治会やら地域のことを考えられないですよ。子どもが小さかったら側に居てあげたいですし、家族が障害や病気などがあればずっと気にかかります。当たり前ですよ。家族の事、仕事の事、自分自身の体のことなど考えなきゃいけないことが一杯です。

だから、自治会長や木津町区って言われても、協力しなくてはという気持ちよりも、みなさんは目の前のことをこなすことで1日が過ぎてしまい自治会や木津町区のことを考えることが負担になってしまっているんだと思います。

でも、でもですねこの先週の地震（5月2日）、土曜日の夕方家族で過ごした方も多かったかもしれませんが、やっぱり自然災害の前では、人間は無力で何も出来ないんだと、いかに災害をイメージして家族が別行動の時はどうするのか？ 家に必要な物は、トイレはどうするのか？ってことを行動に移さないといけないと再確認しました。そして、もっと大きな地震だったらと考えると、家に被害が出るかもしれない、避難所に行かないといけないかもしれない。そんな時、自治会や木津町区の活動を通じて、「顔見知りの関係」が出来ていれば、「あ、あの時の人だ」って安心にもつながるかもしれません。困った時って一人では不安です。家族や近所の人など多くの人の協力なしでは生活は困ります。もちろん、自然災害など関係なく「何気ない当たり前の日常」を過ごしている時って、そんなことを考えないと思います。今、災害にあっていないので、「災害のことを本気で考える」ってことが日常生活の忙しさから優先順位がどうしても下がってしまう。

今年、8月に防災大会、11月に神戸に防災研修、来週には、井関川草刈り清掃を初めて実施する予定です。大きな目的は防災・減災ですが、活動を通じて地域がつながっていければ、「日常のお困りごと」から、「非日常の自然災害の対処」にほんの少しでも役に立つんじゃないかと企画しています。どうか、木津町区の活動を利用して、みなさんの日常生活を便利にしてほしいと思います。私以外の木津町区役員の皆さんは人脈が豊富ですので、色々なことを知っていたり、いろんな人に繋げてくれるかもしれません。

最後に、簡単に自己紹介しますと、北海道は千歳で生まれ、大阪は門真市で育ち、就職で奈良は天理市で生活し、結婚し京都精華町で暮らし、そして今、いずみホールで地域のみなさんの前で、しゃべっているという状態で、木津川市には娘の誕生と同時に引っ越したので、その娘も中学生になり、できれば老けた中学生が地域長になったと思ってもらえれば、嬉しいです。そして、今日ちょうど、40代最後の日です。さらに、「母の日」です。「おかあさん、ありがとう」それでは、本日の総会、よろしく願いいたします。

令和8年5月10日 木津町区 地域長 西 洋祐